

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第49回)

他人任せはアカンよ「アカウント」

2022.01.19



経営にITが大事なことは理解しているが、社員に任せ切りでよく分からない。そんなIT初心者の社長も理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回は、他人任せではいられない、アカウントの乗っ取りだ。

「社長、大変です。ネットで発信している当社のSNSのアカウントが何者かに乗っ取られました」(総務兼IT担当者)

「何！！誰かが株を買い占めて、わが社を乗っ取ろうとしているのか」(社長)

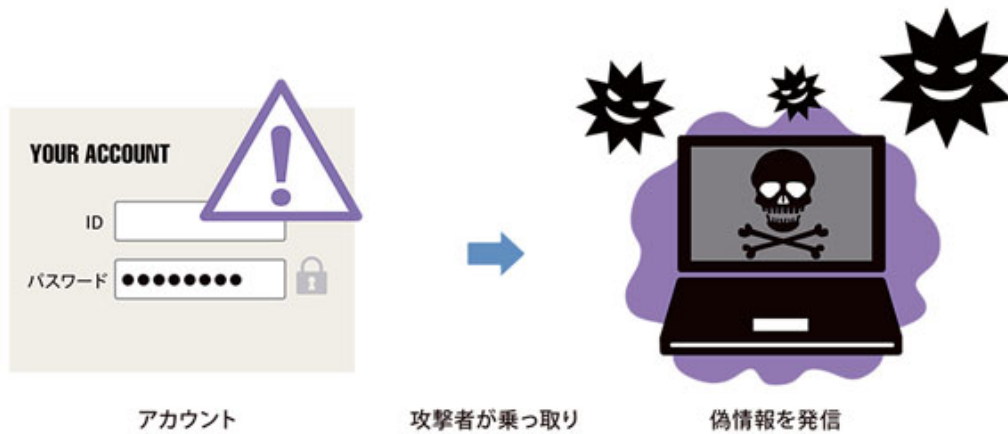
「違いますよ。うちは株式を公開していないじゃないですか。会社の乗っ取りではなくて、誰かがSNSのアカウントを乗っ取って社長はケチだと中傷しているんです。SNSの担当者に聞いたら、そんな投稿はしていないそうです。間違いなくアカウントを乗っ取られたのかと……」

「ケチは本当のことだとしても、それはアカンな。早く、何とかしなさい」

アカウントを悪用して偽情報を発信

メールやSNSなどのサービスを利用するための権利をアカウントと言います。ITサービスで氏名やメールアドレスなどの個人情報を登録すると、アカウントを取得できます。通常、ID、パスワードが発行されます。社内システムのログイン情報もアカウントと呼びます。

攻撃者がID、パスワードなどアカウント情報を盗み、ITサービスや社内システムを不正利用するのが「アカウントの乗っ取り」です。攻撃者はアカウントを悪用して顧客・取引先に偽のメールを送信したり、SNSで偽の情報を発信したりします。攻撃者が悪用するメールアドレスなどのアカウント情報は本物のため、偽メールや偽情報であるのに気付きにくいという特徴があります。



Q 企業でのアカウント乗っ取りのリスクは何でしょうか… 続きを読む